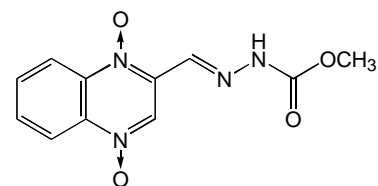


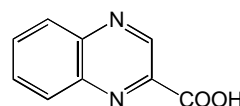
カルバドックスの分析 Carbadox

カルバドックスは、動物医薬品として幅広く使われている合成抗菌剤です。その代謝物であるキノキサリン-2-カルボン酸が食品衛生法によって豚の筋肉や内臓などの残留基準値が設定されています。また、カルバドックスとその一部の代謝物は発ガン性があり、問題となっています。

今回は 10ppm のカルバドックスとキノキサリン-2-カルボン酸の分析を行いました。移動相には LS/MS に使用可能なトリフルオロ酢酸 (TFA) を用い、酸性条件で分析を行いました。また、検出下限においてカルバドックスは 0.01ppm (UV300nm)、キノキサリン-2-カルボン酸は 0.01ppm (240nm) 程度でした。



1. Carbadox



2,2-Quinoxalinecarboxylic acid

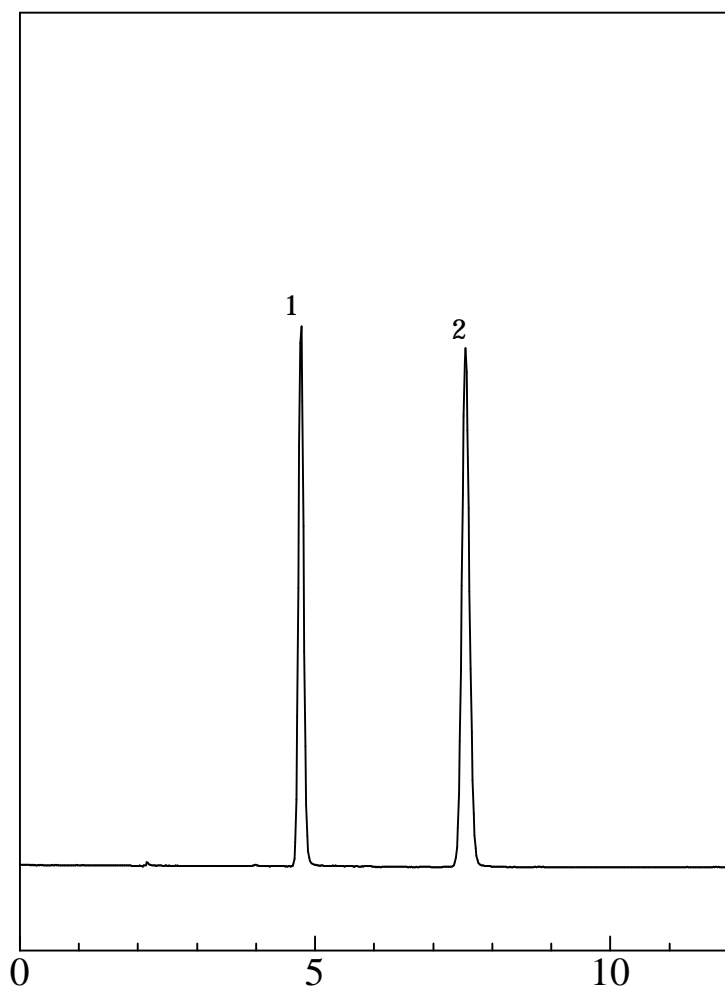


Fig. Chromatogram of carbadox

【Analytical conditions】

Column	: L-column ODS(5 μ m) 4.6 \times 150 mm
Mobile phase	: 15/85 Acetonitrile/0.1% TFA
Flow rate	: 1 ml/min
Temperature	: 40
Detector	: 300nm(0-6min) 240nm(6-10min)
Injection volume	: 10 μ L